

子どもたちへのメッセージ

Message
for children

新版教科書では、さまざまな分野で活躍している人物を取り上げています。
子どもたちに伝えたいこと、作品に込めた思いなど、メッセージを寄せていただきました。



なかや みわさん
(絵本作家)

1年「31 『すき』から うまれた『そらめくん』」
(A 個性の伸長)

「すき」だから、がんばれる。「すき」だから、続けられる。「すき」だから、もっと知りたくなる。そして「すき」は、心の支えになってくれる。「すき」から生まれる原動力は、時に、本人の想像を超えたすごい力を発揮する。他人からみたら、ちっぽけに見えるような小さいことでも、本人が「すき」ならば、それでいい。その小さい「すき」から、世紀の大発明が誕生することだってある。だから、「すき」の気持ちを大切にしてほしい。そして、他人の「すき」を絶対ばかにしてはいけない。



おくはらの ぞみ
奥原希望さん
(プロバドミントン選手)

4年「25 年賀状に書いたゆめ——奥原希望」
(A 希望と勇気、努力と強い意志)

「人生は“宝物”を探す旅だ。」そんなことを聞くと、楽しくワクワクするものを想像すると思います。そう、人生はとても楽しいものです。私は小さい頃から目標や夢をもち続けてきました。失敗もあったけれど、そのぶん宝物もたくさん見つけました。自分の道を一生懸命進んだ先には、きっと“幸せ”という宝物が待っています。だから、みんなも夢や目標をもち、全力で一歩一歩を大切に歩んでほしいです。これからの人生で、みんなが幸せという宝物をたくさん見つけることを願っています。



まえの こうたろう
前野浩太郎さん
(昆虫学者)

6年「28 サバクトビバッタを追いかけて
(昆虫学者・前野浩太郎)」
(A 真理の探究)

この教材が、世の中にあふれているいろいろな話を、そのまま信じ込むのがいかに危険なことなのかを知るきっかけになればうれしいです。行ってみないと見えてこない。やってみないと始まらない。発見は、世界中のみんなと共有できるし、半永久的に残る、誇らしき知的財産です。将来の研究者たちへ一つでも多くの「知」を渡すために、これからも謎に挑んでいきます。



くにもり やすひろ
國森康弘さん
(写真家)

6年「32 恋ちゃん——はじめての『みとり』」
(D 生命の尊さ)

あなたは日々、あるバトンをたずさえ歩んでいます。誰一人欠けなかったことでようやく今のあなたにつながった、奇跡のようなそれ。百万を超えるばあちゃんじいちゃんがつないできた、いのちのリレーのバトンです。また、いつか誰かに何らかの形で手わたしてゆくためのものでもあります。悲しくもあたたかな恋ちゃんたちのバトンリレーのように。